



待ってる、未来。

プロジェクトZ

次代を担うZ世代を対象にした、新しい学びの場です。
チームによる課題解決を通じて仕事の進め方を身につけることができます！

プロジェクトZ 実施報告

2019年8月
インターンシップ採用研究会

CASJインターンシップモデルの策定・提案

①現状の課題

採用のための形式的な1dayインターンシップ開催が採用活動の必要条件となりつつあり、真に入社後に戦力となり得る人材の教育、採用ができていない。

②インターンシップに必要なプログラムの内容

- i. キャリア教育 ソフトウェア業界に必要なスキルの要請、業務遂行に必要な能力育成
- ii. キャリアガイダンス ソフトウェア業界の理解、仕事の理解、社員との交流・会社理解

③CSAJインターンシップモデル

キャリア教育インターンシップ

+

キャリアガイダンスインターンシップ

「プログラムと課題解決を通じた自己成長」を促す

- ・ 50名程度の学生に対し、CSAJ主催で実施
- ・ プログラミング能力を養成
- ・ 課題解決能力を養成
- ・ 3か月程度に渡って実施する教育主体インターンシップ

「仕事理解・会社理解」を目的

- ・ CSAJ各企業が実施する従来の短期インターンシップ

2. CSAJインターンシップモデル 各工程と習得目的

ソフトウェア業界に必要なスキルの養成を通し21世紀型スキルをもった人材を育成するインターンシップ実施を提案致します。

期 間 2020年4月~6月（のうち2か月）

対 象 者 大学生、専門学校生、高専専攻科生、短大生
（高校生以下は積極集客しないが不可ではない）

参加要件 PCが用意できインターネットの通信環境がある。かつ、
期間中4回東京の会場へ来られること。

運 営 者 インターンシップ採用研究会（事務局 CSAJ）および協力企業様

目 的 IT人材の裾野を広げる

内 容 実プロジェクトを模したワークをオンラインにて実行（PBLの学習手法を使用）

流 れ 次ページ

各工程

0. 集客

協力企業を募り、
学生を集客



1. 開始前ガイダンス

当インターンの説明会



2. 参加者集合

要素分解ワーク
課題説明 等



《 2か月間 》

3. オンラインワーク

LINE/スプレッドシ
ートを利用し、チー
ム協力
役割に応じて自学、
構築



4. 進捗発表

現状（ポイント）確認
各自の強み弱みをメンバー共有
課題の追加



5. オンラインワーク

LINE/スプレッドシ
ートを利用し、チー
ム協力
役割に応じて自学、
構築



6. 最終発表

最終発表
優勝チーム表彰
CSAJ会員企業との交流



習得詳細

	工程2	工程3	工程4	工程5	工程6
title	参加者集合	オンラインワーク1	進捗発表	オンラインワーク2	最終発表
詳細	<p>対面2時間</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. チーム分け 2. 自己紹介 (自分の強み弱みを発表) 3. 要素分解ワーク (お題に対して作業工程を分解) 4. ワーク結果の発表と投票 5. リーダ決定 6. 主催者による課題説明 (2か月分) 7. 実際にプログラミングをする 8. 会議 (役割分担、進め方、アクショントリガー※) ※新しい習慣を身に着けるための手法 9. 会議結果の発表と投票 10. 今後の説明 	<p>オンラインで3~4週間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日報、週報 ・チャットでチーム連携 <p>・時間と場所を問わず好きなように課題を実施</p>	<p>対面2時間</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現状確認 2. 進捗プレゼン 3. 投票 4. 強み弱みの答え合わせ (他者からみた強み弱みの共有) 5. 100倍速ワーク (天才の思考と行動を元にした工程で行うワーク) ※情報が足りない状態で判断はできない! 6. 会議 (今後に向けて) 	<p>オンラインで3~4週間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日報、週報 ・チャットでチーム連携 <p>・時間と場所を問わず好きなように課題を実施</p>	<p>対面</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 振り返りワーク (続けられた理由、出来るようになったこと、残った課題) 2. 緊急ワーク (5分でワンコンテンツを作る) 3. 最終発表会 4. 表彰式 5. これから 6. 企業との交流
21世紀型スキル	<ol style="list-style-type: none"> ② 批判的思考、問題解決、意思決定 ③ 学ぶことの学習、メタ認知 (認知プロセスについての知識) ④ コミュニケーション ⑤ コラボレーション (チームワーク) ⑥ 情報リテラシー ⑦ 情報通信技術のリテラシー (ICTリテラシー) 	<ol style="list-style-type: none"> ③ 学ぶことの学習、メタ認知 (認知プロセスについての知識) ④ コミュニケーション ⑤ コラボレーション (チームワーク) ⑥ 情報リテラシー ⑦ 情報通信技術のリテラシー (ICTリテラシー) ⑧ 個人及び社会における責任 (異文化の理解と異文化への適応力を含む) 	<ol style="list-style-type: none"> ② 批判的思考、問題解決、意思決定 ④ コミュニケーション ⑤ コラボレーション (チームワーク) ⑥ 情報リテラシー ⑦ 情報通信技術のリテラシー (ICTリテラシー) ⑩ 個人及び社会における責任 (異文化の理解と異文化への適応力を含む) 	<ol style="list-style-type: none"> ③ 学ぶことの学習、メタ認知 (認知プロセスについての知識) ④ コミュニケーション ⑤ コラボレーション (チームワーク) ⑥ 情報リテラシー ⑦ 情報通信技術のリテラシー (ICTリテラシー) 	<ol style="list-style-type: none"> ① 創造力とイノベーション ⑤ コラボレーション (チームワーク) ⑥ 情報リテラシー ⑦ 情報通信技術のリテラシー (ICTリテラシー) ⑧ 地域と国際社会での市民性 ⑨ 人生とキャリア

「プロジェクトZ」実施スケジュール

5月10日～27日		ガイダンス（説明会）計6回開催 参加13名
6月3日（月）	19:00～21:00	オリエンテーション・自己紹介・チーム分け
6月4日～6月30日		（各チームはSNS・チャットを通じたワークを実施）
7月1日(月)	19:00～21:00	中間報告会（会場：CSAJ）
7月2日～8月5日		（各チームはSNS・チャットを通じたワークを実施）
8月6日（火）	15:00～17:00 17:00～19:00	最終発表会（会場：市ヶ谷健保会館） 懇親会

ガイダンス（説明会）参加者

	プロジェクトZ 事前説明	所属校		参加	居住都道府県
1	5月10日（金）19時～20時	文教大学	国際学部 インターンのため	NG	神奈川県
2	5月10日（金）19時～20時	文教大学	国際学部3年	NG	東京都
3	5月10日（金）19時～20時	駒場東邦高校	2年	○	東京都
4	5月7日（火）19時～20時	中央大学	理工学部2年	○	東京都
5	5月13日（月）19時～20時	早稲田大学	政治経済学部5年（内定あり）	NG	東京都
6	5月13日（月）19時～20時	日本大学	（内定あり）	NG	東京都
7	5月10日（金）19時～20時	首都大学東京大学院	システムデザイン研究科1年	○	東京都
8		首都大学東京	就活を優先するため	NG	東京都
9	5月17日（金）19時～20時	獨協大学	授業の都合がつかず	NG	東京都
10	5月17日（金）19時～20時	慶應義塾大学	6/3に課外授業があるため	NG	神奈川県
11	5月17日（金）19時～20時	法政大学		NG	東京都
12	5月27日（月）19時～20時	国際基督教大学		NG	東京都
13	5月27日（月）19時～20時	トライデントコンピュータ専門学校	交通費がかさむため	NG	岐阜

オリエンテーション

- 6月3日（月） 19:00-21:00
- メンバー初顔合わせ/役割分担/課題選定/今後のスケジュール



テーマをSDGsから選択



中間報告会

- 7月1日(月) 19:00～21:00
- テーマ「SDGs-4 教育」
 - 広範囲へ低コストな教育プラットフォームを導入 ([プレゼン資料](#) [動画](#))



最終報告会

- 8月6日(火) 15:00～17:00
- テーマ：SDGs-8 「雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業を促進する」
 - 利益の出るSDGsのITソリューションを企画、発表する ([プレゼン資料](#) [動画](#))

終了後アンケート

- 本インターンの感想を教えてください
 - 見知らぬ人と2ヶ月間を共にするのは初めてでした。彼らと信頼関係を結ぶことが何より重要であり、時に厳しく接することも必要であったと思います。
 - 合意に至る手間のせいで一人より複数人の方が難しい。複数人でかけ算の成果を出すためにはどうすればよいのか、課題が残った。チーム対抗できればより良かった。
 - 今まで知らないことを知りたいと思っていたので良かったと思います。

終了後アンケート

- 本インターンの経験を経て、働くことへの意識で何か変わりましたか？変わったところがあれば、どのように変わったかを教えてください。
 - 働くときは同じ時間を共有することが重要であると思った。
 - 成果は自己申告（成長？）という言葉が刺さった
 - 働くことを知らなかったなので、その一部でも知ることができたと思う。趣味のように好き勝手はできないと思いました。
- ご自身にはどんな課題が残りましたか？
 - メンバーが良くない振る舞いをしたときに叱ることができなかった。
 - 計画性
 - 結局のところ、やるべきことを完全にはこなせなかった。

終了後アンケート

- 今後はどのような自分を目指しますか？
 - 自分を律し、相手にも厳しく接することができるようにする。
 - 計画的に行動できる
 - 与えられたことは確実にした上で、自分から行動できるようになりたい。
- 本インターンの経験を経て、何が大事だと思いましたか？
 - 失敗を認めフィードバックすること
 - チームの指揮系統
 - 他者との意思疎通が大事だと思いました。